

# AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究集録(2016.10) 平成27年度:34.

新任者現場教育における指導者の関わり —術式別指導要綱の作成—

中川 亜沙美

## 新任者現場教育における指導者の関わり —術式別指導要綱の作成—

旭川医科大学病院 手術部ナースステーション ○中川 亜沙美

### 【はじめに】

中堅者教育研修に参加し、教育の意義や概念を学び、現任教育の実際を知ることができた。中堅者の役割は、スタッフに対し、教育的・指導的に関わることができ、状況に応じたリーダーシップを発揮することが重要であると考えた。

当院手術部では、新任者のOJTは教育担当者やプリセプターを中心にスタッフ全員が担当している。OJT後、新任者と指導者は手術看護師の「臨床実践能力の習熟度段階」を基に作成した全術式共通の評価表を使用し、臨床実践能力を評価している。評価表は術式ごとの具体的な評価基準の記載はなく、指導内容は担当指導者に任せているため、評価基準が不明瞭となりやすい。また、指導者は新任者の個別性に合わせた教育・指導を行っていくことが必要であり、新任者の臨床実践能力の不足点から必要な指導内容を導き出し、教育・指導につなげていくことが重要と考える。

そこで、新任者や指導者それぞれの視点と部署内教育担当の視点から、手術部内現任教育を見直し、術式ごとの指導内容を標準化した術式別指導要綱の作成が必要であると考えた。

### 【研修参加後の課題】

新任者が早期に看護実践を行う眼科手術を基に考えた。

1. 教育担当副師長と眼科手術における器械出し看護の術式別指導要綱を作成する。

2. 新任者の眼科手術指導時に作成した術式別指導要綱を使用し、新任者の臨床実践能力を評価する。

3. 作成した術式別指導要綱を使用し、指導した場面を振り返り、術式別指導要綱を用いた教育・指導について評価する。

### 【実際の取り組みと評価】

1、現在使用している評価表を基に、眼科手術の器械出し看護における新任者への指導内容が明確となるように指導内容や指導時の参考資料を記載した眼科手術指導要綱を立案した。

2、3、指導者は指導要綱を使用し新任者の看護実践能力を評価することで、眼科手術における指導内容のポイントが明確となり、新任者の到達目標をより強く意識して指導することができた。また、他の指導者から指導内容が明確となり、評価しやすくなった、という意見が聞かれた。新任者も自分の技術や知識の到達基準が明確となり、自己の課題を見出すことができていた。

### 【今後の課題】

今回、眼科の器械出し看護における指導要綱のみの実践であったため、教育担当や診療科検討チームなどと共に他科の術式別指導要綱を作成し、指導者が評価時に使用できるよう取り組んでいきたい。